

川崎市

夏休みの自由研究 特集号

公文書館だより

48

生史料 はじめました。

■ 川崎史林：川崎をアーカイブする。

case.2 都市計画

■ 新しいかたちの川崎市史(川崎の歴史の本)の

出来上がっていく様子等を情報発信していきます！！

■ 市制 100+1 川崎クロニクル

川崎近代史研究の動向と展望

■ 生史料はじめました

旧本庁舎の歴史『川崎市廳舎』

■ 出来事とお知らせ

■ かわさきしらべ学習の巻 がくしゅう かん なつやすみ じゅうけんきゅう 夏休みの自由研究特集



「都市計画」ってなに？

日常の買い物から行政手続きまで、これらを行えるコンパクトで便利な駅前周辺地区、市内に張り巡らされた交通網など、私たちが日々の生活をおくる上で利便性の高い都市環境は、いったいどのように整備されてきたのでしょうか。多くの人が暮らす都市で、みなが好き勝手に土地や空間を利用してしまっただけでは、結果としてみなが何となく不便に感じる街が形成されてしまう危険性があります。

これらを防ぐため、地域に根付く多様な生業との調和をとりつつも、一方でそこに暮らす人々が機能的な都市生活を送れるよう、合理的な土地利用に向けて適切な制限や統制を設けることを「都市計画」と呼びます[1]。

今回は、現在の川崎市域に係る「都市計画」の流れを振り返りながら、いち都市として独立したビジョンを備えていく様子を見てみましょう。

独自の「都市計画」がない！？

大正8年(1919)4月、近代日本で最初の本格的都市制法にあたる「都市計画法(旧都市計画法)」が公布されました。戦前に制定されたこの法律は、なんと昭和44年(1969)6月の現行都市計画法の施行まで適法であり、現在の私たちが生活する都市環境の多くは、この戦前の「都市計画法」のもとその基礎が形成されたといっても過言ではありません[2]。

では、市域の都市計画はどのような歩みを辿ってきたのでしょうか。大正14年(1925)、市制施行を迎え、制度的には都「市」の仲間入りを果たした川崎ですが、その基盤ともいえる都市計画は、未だ独自のものを備えていませんでした。当時、〈政治都市〉東京市と〈貿易都市〉横浜市とに挟まれていた川崎市は、まさに両都市を結ぶ中間地帯であり、独自の都市化路線よりは、むしろ両市の拡大によって再編されうる地域として捉えられていました[3]。これは、大正

10年(1921)、都市計画横浜地方委員会で議決された「横浜都市計画区域」によって、本市域の一部がはじめて都市計画法の適用を受けたことから伺えるでしょう[4]。すなわち、当時の川崎市はいまだに〈工業地域〉でしかなかったのです。

都市としての独り立ち

—— 〈工業地帯〉から〈工業都市〉へ ——

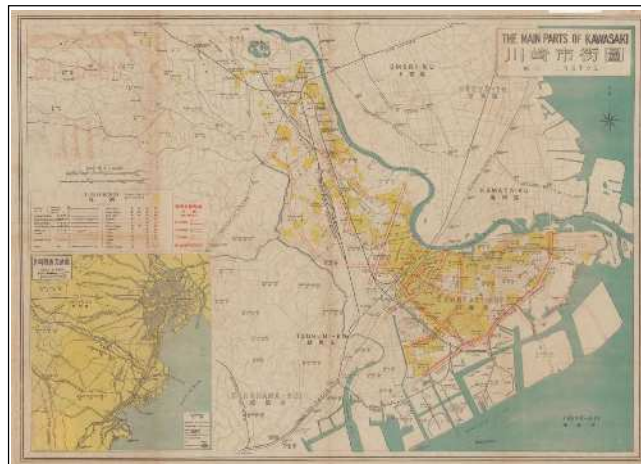
市制施行からおおよそ3年が経過した昭和3年(1928)4月1日、川崎市は独自に都市計画法の適用を受けました[5]。すなわち、本市が〈工業地帯〉から〈工業都市〉へと、東京・横浜の両市とは異なる都市化への方向へ舵を切った瞬間でした。

しかし、不思議なことに、都市計画区域などを具体的に策定する都市計画神奈川地方委員会の招集は、年末を待つことになります。なぜ、ここまで招集が遅れたのでしょうか。つぎでは、都市計画区域に設定された現場レベルでの動きから、当時の状況を振り返ってみましょう。

幻の都市計画委員

本市では、都市計画法適用直前の昭和3年2月15日、田島小学校高等科児童の特別講座と称して市助役の横山三佐二が都市計画法に関連した講演を開催し[6]、続く同年3月27日には、高等女学校(現、川崎市立川崎高等学校・附属中学校)の講堂で、神奈川県知事

の池田宏らを招いた市街地建築物法(都市計画法の関連法)の講演会も実施しています[7]。ちなみに、この池田は内務省官僚として都市計画法を起草し、のちの都市計画神奈川地方委員会では会長を務める人物です。また、行政組織としては適法以前より「都市計画課」を設け、市域を三分割(工業



以下、参照・加工：日本地図株式会社著作『川崎市街圖』、日本地図、1946.12。国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/13938516> (参照 2025-06-03)

地帯・商業地帯・住宅地帯)する構想を練るなど[8]、本市ではソフトとハードの両面で都市計画が着実に準備されていたことが分かります。

他方、川崎市会(現、市議会)では、同年4月20日、都市企画神奈川地方委員会へ派遣する市会委員の代表選挙が行われます。この委員会は、内務省関係者や各省庁の実務担当に加え各地方行政長や議員らで構成され、本市の市会議員には当初は5名(議員定数の5分の1)の席が割り当てられました。この委員選出について、当時の地元紙では、「此委員は実際上市議以上重要な調査研究を要する所から相当激烈なる運動あるべ

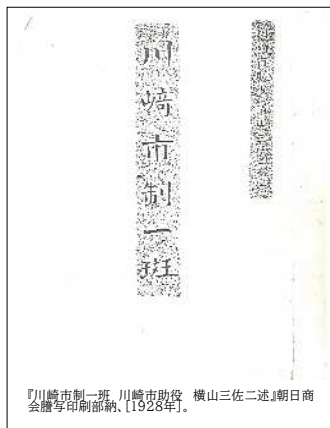
し」状況で、「内々暗中飛躍」の動きもあると伝えています[9]。川崎市は既に4月時点で地方委員会開催に向けた委員の選出を終えていましたが、同時期に都市計画法の適用を受けた横須賀市では、この委員選出が難航している様子が報道されています[10]。これをみても、地元選出議員の都市計画にかける思いの大きさが分かるでしょう。

こうした状況により、第1回委員会の開催日は年末までずれ込むことになります。その結果、本市では9月の市会議員選挙を挟む事態となり、当初5倍の倍率を勝ち取った「加藤守一・有吉篤三郎・斎藤幸一郎・成宮甲太郎・本多亮造」5名は、「大屋幸男・根本茂・菊地勇助」(3頁に続く)



以下、参照・加工：川崎誌刊行会編『市制記念川崎誌 全川崎誌刊行会、1925年』

(2頁続き) 出川健・石川慶蔵・栗谷佳蔵の6名(市会議員定数の増加)へと変更になりました[11]。なお、加藤や斎藤などはこの選挙でも再選を果たしていますが、なぜか委員が総入れ替えとなっています。所属会



派の問題など、要因はさまざま考えられますが、委員として正式に名前を残したのは後者

の6名でした。残念ですが、初期の5名は、少なくとも都市計画という文脈からはこぼれ落ちた「幻の都市計画委員」となってしまったのです。

こうした紆余曲折を経て、昭和3年12月26日、第1回都市計画神奈川地方委員が開催されました。当日は池田会長による演説からはじまり、その後は委員会の規則等が全会一致で議決されますが、この委員会の熱い議論は次回以降に紹介したいと思います。

＜参考文献＞

- [1]都市計画法(昭和四十四年法律第百号)。
- [2]中野章「大正八年・都市計画法再考—都市計画区域と都市計画委員会の政治的断面—」(『政

- 経論叢」49巻1号、1980)。
- [3]池田宏「川崎市と其都市計画に就て」(都市研究会編『都市計画必携』(同、1928))。
- [4]川崎市計画局都市計画部都市計画課編『川崎の都市計画』(同、1966)。
- [5]前掲、註4。
- [6]「田島校の市政講座終了」(『横浜貿易新報』第九千七百二号、昭和3年2月16日)。
- [7]「市街建築物法講演会」(『横浜貿易新報』第九千七百四十号、昭和3年3月25日)。
- [8]「川崎都市計画案 区域別略定まる」(『横浜貿易新報』第九千七百四十八号、昭和3年4月2日)。
- [9]前掲、註8。
- [10]「手持無沙汰の都市計画委員」(『横浜貿易新報』第九千八百八十四号、昭和3年8月16日)。
- [11]『都市計画神奈川地方委員会議事要録 第一号』(都市計画神奈川地方委員会、1931)。

古文書講座 テキスト販売中

公文書館では過去に開催された古文書講座のテキスト(1冊500円)を窓口にて販売しております。販売しているのは、平成28-令和7(2016-24)年度にかけて開催された古文書講座のテキスト・解答となります。お立ち寄りの際は、窓口にてお気軽におたずねください。

新しいかたちの川崎市史(川崎の歴史の本)の 出来上がっていく様子等を情報発信していきます！！

市民ワークショップ「みんなで魅力的な 記念市史を作ろう！」を開催しました！

令和7(2025)年1月～2月に全3回の日程で、市民ワークショップを開催し、新しいかたちのかわさき市史の内容や書名に関するさまざまなアイデアを市民のみなさんから募ることができました。市政だよりなどを通じて参加者を募集し、市内各区より20代～70代の幅広い年齢層の市民15名にお集まりいただきました。

書名につながるキャッチコピーや、本のテーマ史の企画案を発表いただくなど、ワークショップを通じて参加者のみなさんから数多くの貴重で有意義なアイデアをいただくことができました。これらアイデアをもとに、新しいかたちの川崎市史のコンテンツを、さらに面白いものにしていきます！

第3回編集懇談会を福田紀彦市長が視察しました！

令和7(2025)年3月6日、川崎市役所会議室で第3回編集懇談会を開催しました。今回の懇談会では編集懇談会やワークショップの意見をふまえて作成した新しいかたちの川崎市史の「構成案(目次案)」と、「市民へ

の情報発信」について議題として意見交換いただきました。

また意見交換の様子を福田市長が視察され、「やはり、『知って関わってもらおう』ことが大切です！ 川崎の魅力を再発見できるような本を作っていきたいです。」とご挨拶いただきました。



新しいかたちの川崎市史(川崎の歴史 の本)の構成案が決定しました！

市民向けアンケートでの3,000件を超える回答や、編集懇談会での2回にわたる意見交換、市民ワークショップでのさまざまなアイデア出しを取り入れながら、令和7年4月に「川崎の歴史の本」の構成案が決定しました。今後、この構成案に沿って資料収集や取材、記事作成等を進めていきます。

(詳細はQRコードからホームページにアクセスしてご覧ください。)



第4回編集懇談会を開催しました！

令和7(2025)年4月22日、川崎市総合自治会館で第4回編集懇談会を開催しました。今回からは、決定した構成案(目次案)をも

とに、本の内容についてさらに詳しいアイデアを出し合いました。

1つ目の議題は、構成の『川崎市の、わた史 ～人からわかる川崎の歴史～』について

です。各区で活躍する市民への取材を通して、川崎の歴史や文化を深掘りするセンテンスです。委員からは取材先の候補を数多くご紹介いただきました。

2つ目の議題は、構成の『地図で感じる 歩きたくなる川崎史』についてです。このセンテンスでは本を持って街歩きをしたくなるような内容を目指しています。編集懇談会では、川崎をよく知る委員が「推しスポット」や「推しコース」を紹介し合いました。

(オススメコースをいくつか紹介しています。QRコードからホームページにアクセスしてご覧ください。)



今、川崎近代史が熱い！

川崎の近代史は上水道敷設や工業発展などの多様な観点から研究が続けられてきた。川崎市の誕生に至る過程や市制施行に尽力した政治指導者たちの動向もこれまでの『川崎市史』等では検討されている。

川崎市制100周年が終わり、2025年。川崎市の誕生やそれに関わる政治指導者についての研究が相次いで発表され、新たな川崎近代史像の解明につながる機運が高まっている。

鈴木勇一郎氏「川崎市の誕生とその市域」

まずは、鈴木勇一郎氏の「川崎市の誕生とその市域」(『川崎市市民ミュージアム紀要』第37集、2025年)である。都市計画の動向、周辺市町村や内務省などの思惑を含めて川崎市制施行の経緯を明らかにしている。

下田悠真「川崎における石井泰助の政治的役割」

次に、拙稿「川崎における石井泰助の政治的役割」(前掲)である。石井泰助は川崎町における数々の事業

や政治課題に取り組み、その声望により初代市長に選出された政治指導者である。川崎における石井の政治的役割を総合的に検討した論考である。

望月一樹氏「石井泰助の事績と人物像——「石井泰助氏傳」の補訂再録——」

最後に、望月一樹氏の「石井泰助の事績と人物像——「石井泰助氏傳」の補訂再録——」(川崎市教育委員会編『川崎市文化財調査集録59』2025年)である。石井泰助についての唯一の伝記だと考えられる坪井竹子「石井泰助氏傳」(『川崎評論』)を再録することで

幻の伝記が甦った。川崎町・川崎市に関する新事実も明らかになっている。

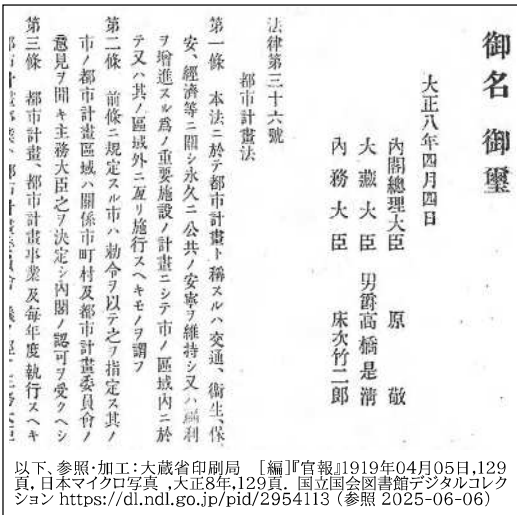
このように2025年に入って3本の関連成



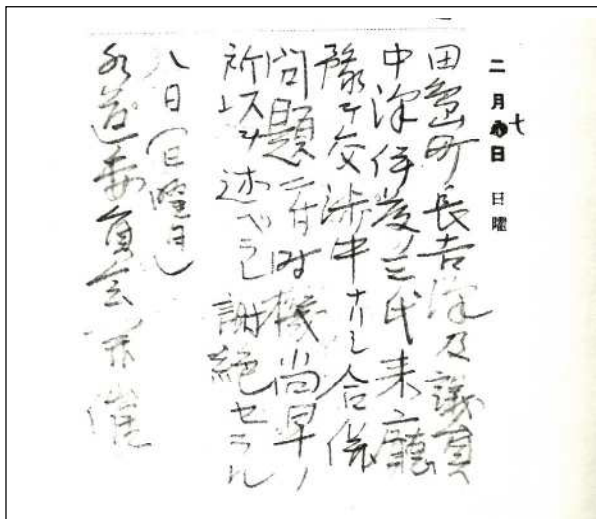
以下、参照・加工：川崎誌刊行会編『市制記念川崎誌 全』川崎誌刊行会、1925年。

川崎市長 石井泰助君

果が出ている。川崎市制施行に向けた政治過程の検討はまだまだ発展途上なのであり、解明すべき点が多々ある。史料の発掘や既知の史料でも再検討することで見えてくることあるだろう。3本の最新論考をぜひとも研究進展の「烽火」としたいものである。(下田悠真)



以下、参照・加工：大蔵省印刷局【編】『官報』1919年04月05日、129頁、日本マイクロ写真、大正8年、129頁。国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/2954113> (参照 2025-06-06)



以下、参照・加工：『手控帳(「石井泰助日記(大正14年)」)』(当館所蔵：複製古文書 60-63-5)。

生史料はじめました 旧本庁舎の歴史

旧本庁舎の歴史

令和7年3月の第2庁舎跡地広場整備工事の完成により、新本庁舎整備工事も遂に完了しました。新しく建設された新本庁舎の南側には時計塔のある旧本庁舎が復元され、往時をしのばせています。この旧本庁舎は建築から78年間、川崎市の行政の中心機能を担ってきました。今回は旧本庁舎の歴史を振り返りたいと思います。

大正13年(1924)7月1日、川崎市は市制をスタートしましたが、その時の町役場は、現在の本庁舎敷地の北東斜め向かいの敷地にあり、前年の関東大震災により被災した

ため、建物をつっかえ棒で補強して使用していました。



川崎町役場集合写真(大正13年(1924)6月撮影)。関東大震災で被災した町役場の建物をつっかえ棒で補強している。(川崎市市民ミュージアム所蔵)。

その後、建物全般に渡って不便が多い上に、職員の増加による庁舎の狭隘化や建物の腐朽化が進んで危険な状態となったため、市庁舎改築について昭和9年(1934)2月26日の市議会で実施予算案を提出し、3月20日に可決されました。これは、まだ現在の市域で言うと川崎区・幸区(日吉村を除く)・中原区しか合併していない段階での決定でした。

工事の設計監督は川崎市臨時建築課、建築工事請負は競争入札により株式会社直喜鋳鋼鉄工所(以下、「榎直喜鋳(5頁に続く)

(4頁から続く) 鉄工所」というが落札し、昭和11年(1936)6月22日に工事請負契約を締結しました。

起工は同年7月1日で、現在の本庁舎敷地(旧川崎尋常高等小学校敷地)で建築を始めましたが、その秋ごろより資材費が高騰し始め、とどまる事の無い諸経費の高騰に伴い、(株)直喜鑄鉄工所は関係業者50数社のほぼ全社から、物価高騰と品不足を理由に工費増額を求められ、応じられない場合は工事中止せざるを得ない状況となります。



建設工事中の市本庁舎。左から2人目が直喜安二郎社長。(川崎市公文書館所蔵)

当時の状況については「例えば、石材の購入費は最初18,100円の約束でしたが、業者から36,000円の要求を受け、市の指定品で専属販売のため止むを得ず26,800円に増額しても、ことごとに(納品は)遅れがちで、最終で工事を終えたような実情であり、他(の資材)についてもご類察できると思います。」と記録されています。

工事中止を避けるため、(株)直喜鑄鉄工所の直喜安二郎社長は、昭和12年(1937)5月26日、市及び市会議あてに工事請負費の増額の嘆願書を提出します。これは常時市会全員協議会にも報告され、市議会議員全員が苦しい状況を理解し、市に調査を一任し、工事費の増額については工事完成後に決する事となりました。

この間、医師からは激務を避けるように注意を受けていた直喜社長でしたが、これを意に介することなく工事完成に向けて奮闘し続け、昭和12年(1938)7月31日の上棟式を前にした6月23日、建設現場で部下を督励中に倒れ、亡くなってしまいます。

さらに昭和12年(1937)7月に勃発した日

中戦争により資材費・労務費等が暴騰し、工事の進捗は大きな困難を迎えます。しかしながら、残された社員はその遺志を継いで、止まることなく工事を継続し、遂に工事を完成させます。

昭和13年(1938)2月10日の竣工式では、芝辻市長から(株)直喜鑄鉄工所あてに「着工当初より拮据勉強(きつぎょ

べんれい、仕事につとめて励むこと)、その間、重大時局の影響により幾多の困難に遭遇したるもよくこれに耐え、ついにその功を竣えたり(おえたり、工事を終わらせた)、その効功(くこう、苦勞して働いて成し遂げた立派な仕事)はまことに大なりと言ふべし、よってここに感謝の意を表す」

との感謝状が贈呈されました。

完成した市庁舎は、鉄筋コンクリート造の玄関車寄せ部分以外は全て白色磁器タイル貼りで、「ひとつは庁舎の目標とし、ひとつは防空警護の用に供するがためなり」とされた8階建て相当の時計塔を備えたシンプルかつモダンなデザインの建物でした。

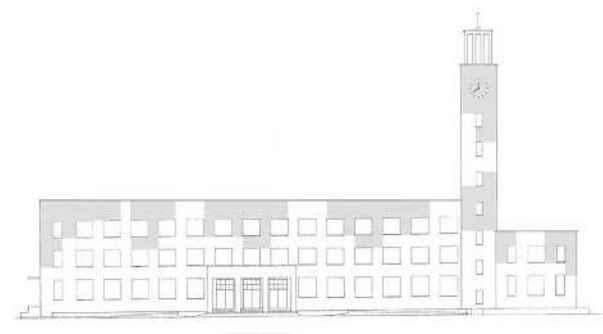


竣工時の市本庁舎(白黒写真を着色、川崎市庁舎管理課所蔵)

昭和16年(1941)、太平洋戦争が開戦すると、市庁舎には高射砲部隊の本部が置かれ、屋上や敷地内には兵舎が作られ、白色の壁面にも防空迷彩が施されました。時計台は防空監視廠とされ、青年学校の生徒が監視廠員として、24時間体制で敵国航空機



空襲による焼失を免れた市本庁舎(白黒写真を着色、川崎市平和館所蔵)



市本庁舎の防空迷彩パターン図(増築工事立面図を参考に作図、着色)。

の監視にあたりました。

昭和20年(1945)4月15日の川崎大空襲では、夜10時3分の空襲警報発令により当直の森田宗作第二助役と職員30数人が参集し、市庁舎への延焼を防ぐために必死の消火活動を行い、本庁舎と道路を挟んだ水道部庁舎はかろうじて焼失を免れました。しかしながら、市役所周辺の家屋は猛火に包まれ、火災から避難してきた多くの人達で市

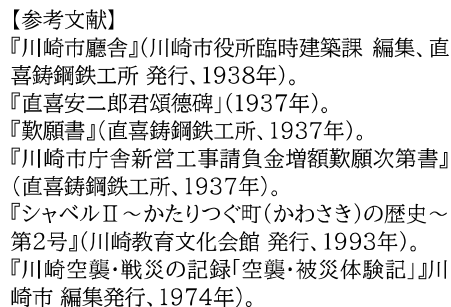
庁舎の地下室は一杯になりました。

戦後は人口増に伴う行政機能の拡充のため、昭和25年(1950)には2階建ての東館部分を2階建てから3階建てに増築し、昭和34年(1959)には3階建ての本館部分を4階建てに増築するとともに北側にも庁舎を増築し、平成28年(2017)まで使用されましたが、耐震性能が著しく不足していたため建て替えをすること

とし、平成29年(2017)に一旦解体されましたが、令和5年(2023)6月、竣工当時の姿を復元した「復元棟」として新築されました。

復元棟の建築ではできるだけ旧本庁舎建築当時の部材を再利用、(6頁に続く)

継承しつつ、建設当時の面影の色濃い建物
となっています。



戦後の市本庁舎周辺(昭和22(1947)~25(1950)年頃撮影、川崎市公文書館所蔵)



ブルース、ジルバと聞いたら何を想像するでしょうか？

さらに、ルンバ、マンボ、サンバと聞かなくても、ああ、ダンスかと思われることでしょう。

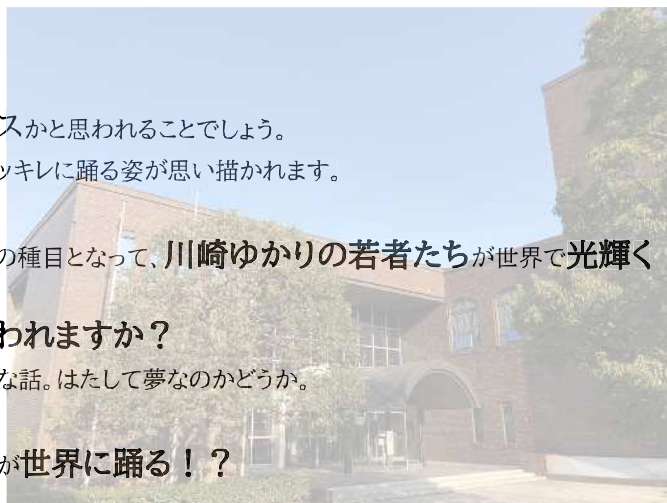
広いホールで背筋を伸ばした男女が、音楽に合わせてキレッキレに踊る姿が思い描かれます。

「ブレイキン」と聞けば「かわさき」というくらい、今やオリンピックの種目となって、川崎ゆかりの若者たちが世界で光輝く姿が臉の奥に映し出されるほど有名です。

なんと「公文書館がダンスの聖地に！」の見出しが躍る、どう思われますか？

著名なダンサーがデビュー前宮前区役所の広場で練習に励んだことは有名な話。はたして夢なのかどうか。

公文書館のガラスの前でダンス！を踊る川崎の若者たちの姿が世界に踊る！？



■今年度開催予定の講座・講演会は次のとおりです。

具体的な内容につきましては確定次第、公文書館HP・報道発表・配布チラシ等で順次お知らせします。

○入門古文書講座(夏 全3回:8月2日、9日、23日/冬 全3回:11月~12月頃を予定)

⇒公文書館職員による初心者を対象とした講座です。全3回にわたる講座のなかで、古文書の独特な言い回しや表現をはじめから学ぶ基本講座となります。同一内容にて、冬にも開催を予定しています。

○入門古文書講座ステップアップ編(夏 全2回:9月頃を予定/冬 全2回:1~2月頃を予定)

⇒公文書館職員による初心者を対象とした講座です。全2回にわたる講座のなかで、古文書の読解練習に取り組みながら、基礎的な読解力を身につけることを目指します。テキストを変更しながら、冬にも同講座を開催予定です。

○中級古文書講座(全3回:10月頃を予定)

⇒外部講師を招いての古文書講座です。基本的な読解力を前提として、さらなる古文書読解力の習得を目指して古文書を学ぶための講座です。

○歴史講座(10月頃を予定)

⇒外部講師を招いた歴史講座となります。川崎市の歴史についてお話していただきます。

○歴史講演会(3月頃を予定)

⇒外部講師を招いた歴史講演会となります。
川崎を中心とした歴史について広く語っていただきます。

川崎市に関わる「古文書」を探してます

当館では、川崎市に関わる江戸から昭和期までの「古文書」など、歴史資料をひろく調査・収集しております。よく分からない、または置場がなく困っている「古文書」などがご自宅にございましたら、是非当館までご連絡、ご相談ください。歴史担当が懇切丁寧に対応いたします。なお、相談以外にも「古文書」の所在地についても情報提供を受け付けております。貴重な「古文書」が散逸してしまうことを防ぎ、川崎市の歴史を語る「古文書」を守っていくため、皆様のご協力を何卒いただきたく、宜しくお願い致します。



川崎市公文書館

■〒211-0051
 ■川崎市中原区内宮内4-1-1
 ■電 話 044-733-3933
 ■FAX 044-733-2400
 ■E-mail
 17koubun@city.kawasaki.jp
 ■HP「川崎市公文書館」で検索
 ■開館時間 8:00-17:00
 ■休館日

毎週月曜日、祝日、法に定める休日(休日
が月曜日に当たるときは火曜日も休館で
す。)、年末年始(12月29日から1月3日)。

かわさきしらべ学習の巻 夏休みの自由研究 特集 ①

みなさん、こんにちは。もうすぐ夏休み！
小中学生のみんな、予定は決まったかな？ どこに行こうか決まったかな？
夏休みといえば、学校の宿題や自由研究もたいへん！
そんな小中学生のみなさんへ、今回は、「かわさきしらべ学習の巻 夏休みの自由研究 特集」と題して、夏休みの自由な研究に最高にピッタリな
いけてるテーマをおしえてあげます。
公文書館にある、本や資料、『市政だより』などは、川崎市についてのこと
がたくさん！ほかの人とかぶったって平気！もしかしたら、いいテーマが
見つかるかも。公文書館に行って、川崎市のことをしらべてみよう！

⑤東京オリンピック(2020年)と川崎市は、どんな関係があるのかな？

★川崎市は英国代表チームの事前キャンプ地だったみたい。

★『東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会 英国代表チーム事前キャンプ受入れ全記録』(川崎市、2022年)を読んで、どんなことをやったのか、まとめてみよう！



おすすめテーマご紹介

①自分のたんじょう月・日に川崎では何があったかな？

★『新聞雑誌記事索引』(A2399)で、その年、その月の川崎市のできごとを調べてみよう！
★図書館や公文書館の新聞資料(マイクロフィルム)で、その月・日の新聞をくわしく見てみよう。

②川崎市って、どんなまち？ほかの市と比べると何が違って見えるかな？

★『大都市データランキング カワサキをカイセキ』で調べてみよう。令和4(2022)年版は、ネットでも見られるよ。
★それより前のものも公文書館にあるよ。むかしと今、何がちがうかな？
日本のほかの市と比べて、川崎市とのちがいをしらべてみよう。

③あの石碑(せきひ)ってなんだろ？

★何気なく道や学校、神社などで見かける「石碑」(せきひ)。なぜ、そこにあるのだろう？どんな歴史があるのかな？
★川崎駅前にある「石敢當」って、なにかな？どう読むの？どうして、何のためにあるのかな？調べてみよう。
★公文書館に行って『かわさき記念碑学習』(土方恵治著、中溝印刷、1976年)、『かわ

④川崎フロンターレはいつ誕生したのかな？リーグ優勝は？

★新聞にはどんなことが書かれているかな？川崎市はどんな風に取り上げていただろう？
★公文書館にあるそのときの『市政だより』を読んで1996年のクラブ誕生や2005年のJ1昇格、2017年のリーグ優勝などなど、まとめてみよう。



⑥とどろきアリーナはどうして生まれたの？

★『川崎市とどろきアリーナ開館10周年記念誌』(川崎市とどろきアリーナ、2006年)にはその経緯がまとまっているかも？



しらべ学習ポイント③
～ノートに書いておこう！～
⇒調べたいこと／なぜそれを調べたいと思ったのか／調べて分かったこと／面白かったことをノートに書いておこう。
⇒思ったことや感想はノートに書いておけば、後で読んで思い出せるよ。
⇒興味・感想は「まとめ」に入れると研究がよりオリジナルなものに！

しらべ学習ポイント①
～しらべたいことを決めよう！～
しらべ学習は調べたことを分かりやすく「まとめること」が大切。調べる順番を決めてから、しらべていくと、楽しさUP！
⇒自分の気になったこと、何でだろうと思うことをあげてみよう。
⇒いつもの不思議や疑問、楽しいと思うモノをテーマにしてみよう。

しゅみん
⑦市民ミュージアムって、どんな建物かな？

かわさきし びじゅつひん こうげいひん れきしてき しりょう
★川崎市の美術品・工芸品、歴史的な史料
 かずおお しゅうぞう
 を数多く収蔵しているミュージアム、
 かわさきししゅみん
 川崎市市民ミュージアムはどのようにして生
 しせつ
 まれた施設なのかな？
 こうぶんしよかん かわさきししゅみん
★公文書館に行って『川崎市市民ミュージアム 誕生をめぐって』(川崎市市民ミュージアム、2024年)『KAWASAKI CITY MUSEUM 市民ミュージアム 総合図録』(かわさきししゅみん 総合図録)(川崎市市民ミュージアム、1988年)をはじめ、開館当時の資料、企画展図録などから、誕生の様子や取組を調べてみよう！

かわさきし
⑧川崎市からのアンケート？

かわさきし ねん まいとししゅみん む
★川崎市は1975年から毎年市民向け
 と
 てアンケートを取っているよ。アンケートで
 き こた
 は、どんなことを聞いて、みんなはどう答えているのかな？
 かわさきししゅみんいきじつたいちようさほうこくしよ
★『川崎市市民意識実態調査報告書』『かわさき市民アンケート』を読んでみよう。時代
 へんか
 によって変化はあるのかな？

くうき みづ
⑨空気や水をきれいにするため
 かわさきし
に、川崎市は、どんなことをしているかな？

かわさきし とりくみ
★川崎市はどんな取組をしてきたのかな？
 たいき
★『かわさきの大気・みずかんきょう水環境のあゆみ』を
 よ
 読んで、まとめてみよう！『かわさきの大気・みずかんきょう水環境のあゆみ』はネットでも見られるよ。



がくしゅう
しらべ学習ポイント④
 わ
～分かりやすく書こう！～

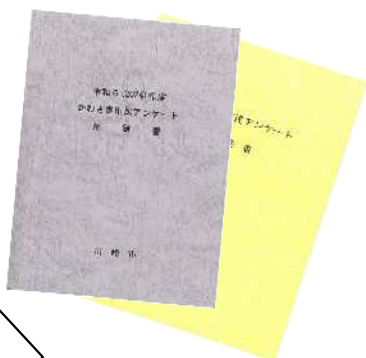
しら じぶん よ
 ⇒調べたことを、自分があとで読んでわかりやすいように、まとめてみよう。
 ⇒5W1H(5ダブリュー1エイチ)というように書いていくと、きれいにまとまるよ。

がくしゅう
しらべ学習ポイント⑤
 ～5W1H(5ダブリュー1エイチ)？～

⇒5W1H(whenいつ/whereどこで/whoだれが/whatなにを/whyなぜ/howどのように)には調べたことを「まとめ」るときのコツ。
 ⇒調べたことを「まとめる」とき、「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「なぜ」「どのように」したのかを、わかることから書いてみると、だれかに話したり、発表したりするときに、わかりやすいよ。
 ただ「なぜ」「どのように」を調べるのはとてもむずかしいよ！！

じぶん がっこう
⑩自分の学校って、どんなところ？

じぶん かよ しょうがっこう かよ しょうがっこう
★自分の通っている小学校／通った小学校
 がっこう
 はどんな学校なのかな？
 こうぶんしよかん がっこう きねんし
★公文書館には学校の記念誌がたくさんあるよ。どんな歴史があるのか、調べてみよう！



こくさいにきりゅう かわさきし
⑪国際交流って？ 川崎市には
 こくさいにきりゅう
国際交流センターという建物があるよ？ どんな建物だろう？

こうぶんしよかん い
★公文書館に行って『KAWASAKI INTERNATIONAL ASSOCIATION

ねん
 1989-1998 10年のあゆみ』
 かわさきしこくさいこうりゅうきょうかい ねん しせい
 (川崎市国際交流協会、1999年)や『市政だより』を
 みて、で
 りゆう
 きた理由
 やうつり
 か
 変わりを
 調べて
 みよう！



『市政だより』No.637、1994年10月、1面参照。

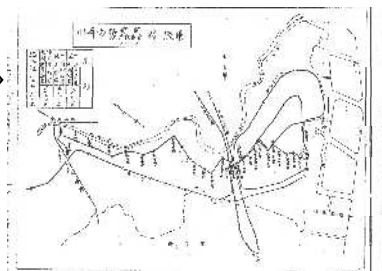
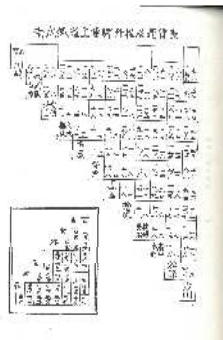
かわさきし しやうだいしちよう
⑫川崎市の初代市長って、どんな人？

こうぶんしよかん
★ 公文書館 は、
 しやうだいしちよう
 初代市長の石井泰助
 (いしい たいすけ)の
 てんじ
 展示もあるよ。どんなこ
 ひと しら
 とをやった人なのか、調べてみよう！



なんぶせん
⑬南武線(なんぶせん)っていつからあるの？ バスは？

なんぶせん とうかいどうせん けいひんとうほくせん
★JR 南武線、東海道線、京浜東北線、
 よこすかせん むさしのせん おだきゅうせん とうきゅうせん
 横須賀線、武蔵野線、小田急線、東急線など、川崎市にはほかのまちに比べて、たくさん
 でんしゃ はし
 さんの電車が走っているのを知ってるよね。
 こうぶんしよかん かわさきしせき
★ 公文書館の川崎書籍コーナーには、『
 なんぶせん
 南武線 いま むかし』(原田勝正著、多摩川
 新聞社、1999
 年)、川崎市電につ
 い て は『
 かわさきしでんものごた
 川崎市電物語』(原
 田昌司、秀英社出
 版、1992年)など
 お
 も置いているよ。
 し
★市バスについて
 しせい
 は『市政だより』の
 ぜんしん しせいじほう
 前身『市政時報』に
 の
 も載っているよ。



がくしゅう
しらべ学習ポイント⑥
 しりよう
～資料をみせよう！～

じ か
 ⇒字で書いただけだとよくわからないものは、
 しやしん
 写真をとったり、コピーしたりしていっ
 しょにとっておくと、わかりやすくなるよ。
 え
 絵
 か
 を書いてもよいかも。
 さが み なまえ
 ⇒探していたものを見つけたときは、名前
 か
 もいっしょに書いておこう。